

# かごゆホット

第30号

発行:2019年11月

発行元:病院事務部



鹿児島大学病院トピックス ( **Kagoshima University Hospital Topics** )

## ～ 医学部入試での女性差別に思う ～

医学部入試における“女子受験生一律減点”のニュースが以前報じられましたが、努力した人が正当に報われないというのは何よりも悲しいことです。女性医師がその能力とやる気を発揮できる環境提供を優先せず、なぜこのような不正をするのか、毎夜遅くまで勉強した受験生とそれを支えた家族らにどう償う気でしょうか。

この不祥事が起きた背景として“女性医師は結婚・出産すると子育てで臨床を離れるからあまり入学されても困る”などの言い訳がありましたが、自分のペースで物事が進まない“子育て”は“仕事”より難しいものですし、後者のうちでも特に責任が重い“医療という仕事”と両立させるのはさらに至難の業でしょう。しかし、自分の専門性を伸ばす努力を怠らず、一刻も早い職場復帰を目指している子育て中の女性医師はたくさんいます。今こそ、屋根瓦式の主治医グループ制、ワークシェアリング、時短勤務、充実した院内保育園等々、女性医師が活躍する就労環境を確立するチャンスです。復帰した女性医師がその環境のもと大活躍することで、医師免許を取らせてくれた教育制度や医育機関に恩返しをし、ひいては世の中の患者さんに恩恵を届ける未来が来るはずです。



小林 女性診療センター長

院内のつぶやき